

細部まで丁寧な塗装で
芸術のような美しさを
必ず実現する。

いしい ゆうき 石井 悠貴

職人歴 11年以上 / 施工棟数 390棟以上
<2019年現在>

冴え渡る妙技で、芸術作品のように塗り上げる。

仕上がりの美しさなら誰にも負けない。
職人のこだわりが光る塗装工事。

劣化してしまった住まいに塗装を施すことで、息を呑むほど綺麗な外観にしていく。美しく生まれ変わった住まいはご家族の生活にも彩りを与え、日常をより豊かなものに変えていく—美しい仕上がりでお客様を幸せにできる塗装は、まさに芸術のようだと常々考えています。

美しく仕上げるために、いかに妥協せず丁寧に仕事をするかが重要です。細部までムラなく綺麗に塗っていくのはもちろんのこと、塗装する前の下地補修や養生などにもとことんこだわり、どの工程を切り取ってもハイレベルな工事を徹底しています。

こだわり 道具 道具選びにも決して妥協しない

よりよい仕上がりのために、道具はなるべくいいものを使うよう心がけています。メーカーの担当者に相談したり、展示会に足を運ぶなどして、もっといい道具はないか常に探求を続けています。



圧倒的な美を追い求めて、
こだわりを貫き続ける。

常に目指すのは、感動的な仕上がり。



施工 真心を込めて美しく塗り上げる

洗浄

外壁や屋根は塗装で綺麗になっても、塗装しない箇所が汚れていては全体の美しさが損なわれてしまいますので、サッシのレールの中なども丁寧に洗浄していきます。

下地補修

塗装した際の見た目を美しく、さらに長持ちさせるためには、ひび割れている箇所や下地が荒れている箇所を適切に補修することが非常に重要です。現場で建物の状態を見極めて、最適な補修方法を導き出します。

養生

開け閉めが多い窓は開けられるようにしたり、玄関前は滑りにくいようにするなど、住んでいる方のことを第一に考えて養生のやり方を工夫しています。

下塗り

下地の状態や建材の種類によって施工方法を切り替えていきます。例えば溝が深いサイディングでは、通常よりも毛が長いローラーを採用することで、十分な膜厚を確保します。

中塗り・上塗り

ローラーの跡や継ぎ目が残らないように手を動かす方向を微調整したり、ムラが出ないように均一に塗っていくなど、美しい仕上がりにするために最後の最後まで細心の注意を払って塗り上げていきます。

いしい ゆうき 石井 悠貴 プロフィール

- | | | | |
|--------|-------------|--------|---------|
| ■ 生年月日 | 1991年11月22日 | ■ 保有資格 | 一級塗装技能士 |
| ■ 出身 | 神奈川県相模原市 | ■ 性格 | 几帳面 |
| ■ 趣味 | ボウリング | | |

